

第Ⅱ部 環境研究会

福岡県の環境分野の潜在能力をアジアで活かすために

はじめに

福岡県は、平成 22 年 9 月 17 日に政府に対し「福岡・アジア国際戦略特区」構想を提出した。アジアの活力を取り込み、日本経済の成長を牽引することを目指したものである。戦略を構成する柱の一つとして、「アジア環境戦略」を掲げ、環境分野の人材育成・研究開発拠点の形成、アジア自治体環境協力の拡大強化などを図ることが盛り込まれている。

本章は、この構想を背景に福岡県とアジア経済研究所の連携研究事業の環境分科会がとりまとめたものであり、福岡県の中小企業等のアジア展開に向けた戦略、県の支援策等についてとりまとめたものである。

福岡県には、これまでに積極的に自治体間環境協力を実施してきた北九州市があり、また、全国に 26 しかないエコタウンのうち、北九州と大牟田の 2 つのエコタウンが立地している。また、福岡県では、小型家電の回収事業も、秋田県、茨城県に続き、取り組みを行っている。KITA など、JICA の研修なども積極的に受け入れてきている。

また、福岡に立地する福岡工業大学、九州大学、福岡女子大学、西南学院大学の 4 大学は、環境・エネルギー問題をテーマとしてコンソーシアムを形成している。文部科学省の「戦略的大学連携支援事業」（平成 20 年度）の支援を受けた事業である（詳細は、第 5 章参照）。

上記、アジア国際戦略構想を進めるため、福岡県は、中国・江蘇省、ベトナム・ハノイ市とこれまで行ってきた交流事業をさらに発展させ、環境分野でより実質的な協力を行っていくことを目指している。

これらの様々な取り組みを踏まえながら、本分科会では、3 回の研究会を行い、委員を中心に環境協力のあり方、福岡県の環境協力を民間ビジネスにどのようにつなげるか、環境分野での民間のアジア進出をどのように支援できるかについて、議論を行った。また、中国やベトナム等の環境政策・環境対策をテーマに 3 回の小講演会を実施した。また、2011 年 3 月 3 日には、セミナーを開催し、分科会の報告書の概要を紹介するとともに、アジア進出に向けた産学官連携のあり方についてパネル・フロアディスカッションを行った。研究会にあわせ、大牟田のエコタウンなどの現地見学や企業からのヒアリングもおこなった。

以下、福岡県の環境分野の潜在能力をアジアで活かすためにどのようなことをしていくべきかについて検討を行った結果を報告する。

